

令和4年度 学校評価書(後期)

校名 宇和島市立戸島小学校

1 自己評価書

教育目標 ふるさとを愛し、たくましく生きる児童の育成						
基本方針						
本年度重点目標						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	前期	後期	後期評価
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	D D	C
	②	授業改善	主体的な学びの実現に向けて授業改善に努めた。(一斉教授型の授業スタイルからの脱却)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B A B B	B
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B C B B	B
			一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、主体的な学びや個に応じた学びの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A A A A A A	A
	③	家庭学習の充実	授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B B B B	B
④	読書活動の充実	読書に対する関心意欲を高め、読書習慣の定着に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A A B C B B	B	
⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A B B A B B	B	
<p>(成果と課題)</p> <p>○児童は、一人1台端末を活用することによって主体的に学習に取り組むことができた。</p> <p>●2学期後半には、授業中に「振り返り」の時間を設けることができなくなりました。</p> <p>●家庭学習や読書活動の充実が図れなかった。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○一人1台端末の活用方法について、他校での取組を参考にしていく。</p> <p>○学力診断調査の結果を基に、身に付けさせたい資質・能力を補えるような家庭学習を実施する。</p> <p>○家庭で読書をする時間を設ける。</p> <p>○授業中に必ず「振り返り」の時間を設定し、児童が授業でできるようになったことやこれから頑張りたいことなどを確認する。</p>						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	前期	後期	後期評価
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B A B B	B
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間づくりに努め、心の通う対人交流が深まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B A B A	A
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A B A B B	A
			いじめの未然防止、早期発見、解決に向けて組織的に取り組むとともに、地域・保護者に対して、「学校いじめ防止基本方針」の周知に努めた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B B B B B B	B
③	基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B C A B A A	B	
④	自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿 ・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	A A A A A A	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○児童自身が一人一人の良さを認め、学級担任との人間関係も良好である。</p> <p>●基本的な生活習慣の定着に向けて、学校から保護者への啓発ができなかった。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○学級担任だけでなく、戸島小学校職員が、常に児童の話をよく聞き、認め、励ます姿勢を貫く。</p> <p>○生活面で気になること等があれば、家庭と連携しながら改善していく。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	前期	後期	後期評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	D C	C B	C
	②	働きやすい環境づくり 業務改善に向けて自校の課題を洗い出し、慣例にとらわれることなく積極的に改善に努めた。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	B	B	B
			・教師アンケート	A	A	A
③	他の教職員のサポート体制の充実 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	A	
<p>(成果と課題) △教職員の業務負担を軽減するために、外部講師を招聘したり、兼務校教職員に出張に行ってもらったりした。しかし、業務が軽減されたことには、つながらなかった。 ●様々な教育活動の際に、管理職が不在であることが多く、教職員の負担は、大きかった。</p> <p>(改善策等) ○日頃の教育活動の中で、「これまで通り(例年通り)にすべきこと」と、「改善すべきこと」をきちんと職員で話し合い、負担軽減につながることは、改善していく。 ○これまでと同様に、職員同士の声掛けや雰囲気づくりに努め、何でも相談し合える状況を継続していく。</p>						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	前期	後期	後期評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めるとともに、全職員の共通理解の下、学校運営協議会の活性化を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B B B	C B A	B
	②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A A A	A
	③	来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A B	A A B	A
<p>(成果と課題) ○運動会や学習発表会などの行事に保護者、地域の皆様に積極的に参加や協力をしていただき、児童にとって思い出に残る活動が実施できた。 ○学校の様子を学校ホームページ等で発信することができた。 ●学校運営協議会において、学校が見通しを持って連絡・相談ができない場面があり、保護者・地域の皆様に負担をかけたところがあった。</p> <p>(改善策等) ○保護者・地域と連携・協働していく体制づくりを継続的に行う。 ○学校運営協議会の活性化に向けて、「児童の思い」「保護者の思い」「地域の思い」を引き出すことができるような体制づくりに努める。 ○児童の絵画等を地域に飾ってもらうなど、学校と地域住民との関わりを増やしていきたい。</p>						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満